

めぐみイエス・キリスト教会

2024年8月25日(日) 第四主日礼拝

午前10時より

週報「通算第720号」



2024年標題聖句

マタイの福音書第6章33節

《まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌465「いつかは知らねど」 p. 748

【交読文】 No.45 詩篇第146篇 p. 915

【賛美Ⅱ】 新聖歌385「主よ終わりまで」 p. 620

【使徒信条】

【主の祈り】

【前回説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲「父なる神の愛」

【聖書朗読】 ルカの福音書6章27節～31節(新約p. 121下段)

【礼拝説教】 《あなたがたの敵を愛しなさい》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄与」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所(ルカの福音書6章27節～31節)

6:27 「しかし、これを聞いているあなたがたに、私は言います。あなたがたの敵を愛しなさい。あなたがたを憎む者たちに善を行ないなさい。

6:28 あなたがたを呪う者たちを祝福しなさい。あなたがたを侮辱する者たちのために祈りなさい。

6:29 あなたの頬を打つ者には、もう一方の頬も向けなさい。あなたの上着を奪い取る者には、下着も拒んではいけません。

6:30 求める者には、だれにでも与えなさい。あなたのものを奪

い取る者から、取り戻してはいけません。

6:31 人からしてもらいたいと望むとおりに、人にしなさい。」

●ポイント1.「主イエスが言われた言葉の成就」とは？

※ルカの福音書23章34節「十字架の上において」(新約p.170)

23:34 そのとき、イエスはこう言われた。「父よ、彼らをお赦してください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」彼らはイエスの衣を分けるために、くじを引いた。

●ポイント2.「シモン・ペテロの証し」とは？

※第 I ペテロ2章19節～23節「不当な苦しみ」(新約p.468上段)

●ポイント3.「敵を愛しなさい」とは？

※ローマ書12章14節・17節～21節「パウロの勧め」(新約p.318)

12:14 あなたがたを迫害する者たちを祝福しなさい。祝福すべきであって、呪ってははいけません。

12:17 だれに対しても悪に悪を返さず、すべての人が良いと思うことを行なうように心がけなさい。

12:18 自分に関することについては、できる限り、すべての人と平和を保ちなさい。

12:19 愛する者たち、自分で復讐してはいけません。神の怒りにゆだねなさい。こう書かれているからです。「復讐はわたしのもの。わたしが報復する。」主はそう言われます。

12:20 次のようにも書かれています。「もしあなたの敵が飢えているなら食べさせ、渴いているなら飲ませよ。なぜなら、こうしてあなたは彼の頭上に燃える炭火を積むことになるからだ。」

12:21 悪に負けてはいけません。むしろ、善をもって悪に打ち勝ちなさい。

◎先週の礼拝メッセージ【哀れな者とは？】

《ルカの福音書の主イエスが言われた平地の説教を学んでいます。

「貧しい人たちは幸いです。神の国はあなた方のものです。」

「しかし、富んでいるあなた方は哀れです。あなた方は慰めをすでに受けているからです。」

多くの財産を持っていることは、確かに素晴らしいことです。しかし、それだけでは、心が満たされることはないのです。なぜなら、神様がそのように人間を創造されたからです。

「今飢えている人たちは幸いです。あなた方は満ち足りるからです。」

「今満腹しているあなた方は哀れです。飢えるようになるからです。」

大金持ちの人々は、美味しい物を思う存分に食べることが出来ます。しかし、その人たちがやがて飢えるようになると主は言われます。

「今泣いている人たちは幸いです。あなた方は笑うようになります。」

「今笑っているあなた方は哀れです。泣き悲しむようになります。」

使っても使い切れないほどの富があったとしたら、もう、笑いが止まらないかも知れません。しかし、どんなに多くの富があったとしても、病の癒しと永遠の命を買うことは出来ないのです。彼らが、主イエスを知らなければ、死後に行くべき場所は、紛れもなくゲヘナになります。彼らは、そこで、泣いて歯ぎしりすることになるのです。

主イエスは、この説教に当てはまる話を具体的に弟子たちに話されました。しかもこの話は例えではなく事実であると言われていています。

それが「金持ちダイブスと貧乏人ラザロ」の話なのです。まさしく、「哀れな者」とは、誰であるのかを、私たちに教えています。

そして最後に、主イエスは、迫害された預言者について話されました。エレミヤとザカリヤのことです。今の時代でも、耳に心地良い話や、よい預言を聞きたい人は大勢います。しかし、み言葉こそが、唯一、私たちを導いて下さる羅針盤であり、真理なのです。》

お知らせ

※次回は9月1日(日)第一主日礼拝は、午前10時から行ないます。